

今年5月に内閣府より全国の「県民経済計算」結果が公表されました。県民経済計算は、県経済の全体像をとらえることができる指標で、都道府県間の特色が分かります。

山口県の産業構造については、製造業の割合の高いことが知られていますが、同様に各都道府県にはそれぞれの特徴があります。一例として、県内総生産（GDP）が本県と同規模の県と比べるとどうでしょうか。

山口県の平成22（2010）年度県内総生産（名目）の全国順位は24位で、表は、全国順位が22～26位となる本県を含む前後5県と全県計の指標を表したものです。

5県ともに県内総生産および総人口は中位に位置していますが、総生産の内訳には5県それぞれに特色の違いが現れています。

産業別内訳をみると、本県および岡山県、滋賀県は第2次産業の構成比が高いのに対し、熊本県と鹿児島県は第1次産業および第3次産業の構成比が高くなっています。総生産が同規模でも滋賀県や本県の製造業構成比は、熊本県や鹿児島県の2倍以上となっており、製造業に高い特化を示しています。

なお、製造業の構成比が30%を超えるのは全県中で本県を含めた7県（※）のみであり、あらためて本県が屈指の工業県であることが分かります。

製造業の内訳を見るとさらに異なった特色が分かりますが、このように、県民経済計算は経済規模や産業構造について、他県や全国平均と比べての特徴を知ることができる有用な指標です。近隣県や地域比較などによるさまざまな切り口から本県の特色を調べてみましょう。

※滋賀県、三重県、栃木県、静岡県、山口県、茨城県、群馬県

	県内総生産(名目) (100万円)		総人口 (人)		総生産産業別構成比							
					第1次産業		第2次産業				第3次産業	
					順位	順位	順位	順位	内、製造業		順位	順位
岡山県	7,064,698	22	1,945,276	21	1.1%	32	30.5%	14	26.3%	12	68.5%	34
滋賀県	6,013,854	23	1,410,777	28	0.6%	41	42.8%	1	38.4%	1	56.6%	47
山口県	5,752,238	24	1,451,338	25	0.9%	36	36.5%	5	32.1%	5	62.6%	43
熊本県	5,559,799	25	1,817,426	23	2.9%	8	21.6%	32	16.2%	32	75.5%	19
鹿児島県	5,446,148	26	1,706,242	24	3.4%	6	19.3%	38	13.6%	37	77.4%	12
全県計	495,637,724		128,057,352		1.1%		23.5%		18.5%		75.4%	

資料:「平成22年度県民経済計算」(内閣府) http://www.esri.cao.go.jp/jp/sna/sonota/kenmin/kenmin_top.html